

マルコウ マルコク

高 国 木曾ひのき

年齢 有林

木曾森林管理署、南木曾支署では、平成25年度より木曾谷の国有林野から生産される、林齢80年生以上の高齢級人工林ヒノキについて、良質な素材を「**高** **国** 木曾ひのき」(呼称：マルコウ マルコク キソヒノキ)と称して販売しています。

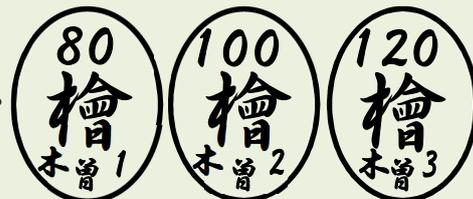


極印の押印



80年生以上の人工林ヒノキの内、以下の丸太の木口に極印を打ちます。

- ① 長級4m以上かつ径級30cm以上の尺上材
- ② 長級4m以上かつ径級24cmから28cmの中目材
ただし、①②のうち、曲材、多節材は除きます。
- ③ 極印は、右の3種類を使用します。(左から林齢80~99年生、100~119年生、120年生以上)



資源の活用に向けて

木曾谷の国有林野の面積は、89,452haを有し、天然林が55%、人工林が45%となっています。人工林に占めるヒノキ林の割合は**67%**で、この内、80年生以上の高齢級ヒノキは、**約30%**(約8千ha 約247万㎡)を占め、中でも**明治20年(1887年、126年前)**に植栽されたヒノキ林(大桑村天王洞国有林)が、最も古い人工林ヒノキ林として存在しています。

今後、**70%**を占める79年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高齢級ヒノキの蓄積が増えることが期待されることから、継続的な「**高** **国** 木曾ひのき」の生産・販売に努めて参ります。

平成31年4月から、木曾署産は「**高** **国** 木曾ひのき(木)」、南木曾支署産は「**高** **国** 木曾ひのき(南)」と表示しています。

高齢級ヒノキの特徴

木曾谷から産出される80年生以上の人工林ヒノキは、

- ① 厳しい自然条件で生育しているため、年輪が緻密で狂いが少ない。
- ② 淡黄白色の精楚な色合いを呈し、香気と光沢に富んでいます。

